

高等学校福祉科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

| 問題番号 | | 正 答 (例) | 採 点 上 の 注 意 | 配 点 | | | | | | | |
|---------|---|--|--|--|--|--|----------------------------------|----------------------------|----------------------------------|--|------|
| 1 | (1) | ウ | | 4 | 2 2 | | | | | | |
| | (2) | 核家族化の進行や地域社会におけるつながりの喪失により、周囲からのサポートも十分に得られないことから、育児不安や子育ての負担感を増大させているため。 | 問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。 | 5 | | | | | | | |
| | (1) | エ | | 4 | | | | | | | |
| | (2) | <ul style="list-style-type: none"> 市町村の業務の実施に関し、市町村相互間の連絡調整、市町村に対する情報の提供、市町村職員の研修その他必要な援助を行うこと。 児童及びその家庭につき、必要な調査並びに医学的、心理学的、教育学的、社会学的及び精神保健上の判定を行うこと。 児童及びその保護者につき、調査又は判定に基づいて必要な指導を行うこと。 児童の一時保護を行うこと。 里親に関する普及啓発、必要な情報の提供、助言、研修その他の援助を行うこと。 養子縁組に関する必要な情報の提供、助言、その他の援助を行うこと。 児童及び妊産婦の福祉に関し、広域的な対応が必要な業務並びに家庭その他につき専門的な知識及び技術を必要とする支援を行うこと。 | 3つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてよい。 | 各3×3 | | | | | | | |
| 2 | (1) | 介護が単に入浴・排泄・食事、そのほかの従来の身体介護だけにとどまらず、認知症高齢者の増加に対応した介護利用者の尊厳や自立支援なども包括的に業務として位置付けられ、心理的・社会的支援の側面が重要になってきたため。 | 内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてよい。 | 10 | 2 6 | | | | | | |
| | (2) | 経管栄養 | 内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてよい。 | 4 | | | | | | | |
| | 2 | <table border="1"> <tr> <td>秘密保持義務</td> <td>正当な理由がなく、その業務に関して知り得た人の秘密を漏らしてはならない。介護福祉士でなくなった後においても、同様とする。</td> </tr> <tr> <td>名称の使用制限</td> <td>介護福祉士でない者は、介護福祉士という名称を使用してはならない。</td> </tr> </table> | 秘密保持義務 | 正当な理由がなく、その業務に関して知り得た人の秘密を漏らしてはならない。介護福祉士でなくなった後においても、同様とする。 | | 名称の使用制限 | 介護福祉士でない者は、介護福祉士という名称を使用してはならない。 | 内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてよい。 | 各6×2 | | |
| 秘密保持義務 | 正当な理由がなく、その業務に関して知り得た人の秘密を漏らしてはならない。介護福祉士でなくなった後においても、同様とする。 | | | | | | | | | | |
| 名称の使用制限 | 介護福祉士でない者は、介護福祉士という名称を使用してはならない。 | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | <table border="1"> <tr> <td>図1</td> <td>パーククロロエチレン及び石油系溶剤によるドライクリーニングができること。</td> </tr> <tr> <td>図2</td> <td>底面温度 110℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができること。</td> </tr> <tr> <td>図3</td> <td>日陰のつり干しがよいこと。</td> </tr> </table> | 図1 | パーククロロエチレン及び石油系溶剤によるドライクリーニングができること。 | 図2 | 底面温度 110℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができること。 | 図3 | 日陰のつり干しがよいこと。 | 内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてよい。 | 各6×3 | 4 4 |
| | 図1 | パーククロロエチレン及び石油系溶剤によるドライクリーニングができること。 | | | | | | | | | |
| | 図2 | 底面温度 110℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができること。 | | | | | | | | | |
| 図3 | 日陰のつり干しがよいこと。 | | | | | | | | | | |
| 2 | <table border="1"> <tr> <th>取組の名称</th> <th>具体例</th> </tr> <tr> <td>リデュース</td> <td>買い物のときは、マイバッグを持参して、レジ袋をもらわないようにすることで、廃棄物の発生を抑制する取組</td> </tr> <tr> <td>リユース</td> <td>洗剤やシャンプー等は詰め替えて、容器を再使用する取組</td> </tr> <tr> <td>リサイクル</td> <td>空き缶、空き瓶、牛乳パック等は資源回収に出す等、再資源化する取組</td> </tr> </table> | 取組の名称 | 具体例 | リデュース | 買い物のときは、マイバッグを持参して、レジ袋をもらわないようにすることで、廃棄物の発生を抑制する取組 | リユース | 洗剤やシャンプー等は詰め替えて、容器を再使用する取組 | リサイクル | 空き缶、空き瓶、牛乳パック等は資源回収に出す等、再資源化する取組 | 順序は問わない。 取組の名称と具体例がともに合っているものだけを正答とする。 具体例については、内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてよい。 | 各6×3 |
| 取組の名称 | 具体例 | | | | | | | | | | |
| リデュース | 買い物のときは、マイバッグを持参して、レジ袋をもらわないようにすることで、廃棄物の発生を抑制する取組 | | | | | | | | | | |
| リユース | 洗剤やシャンプー等は詰め替えて、容器を再使用する取組 | | | | | | | | | | |
| リサイクル | 空き缶、空き瓶、牛乳パック等は資源回収に出す等、再資源化する取組 | | | | | | | | | | |
| 3 | (ア), (ウ), (エ) | 全部合っているものだけを正答とする。 | 8 | | | | | | | | |

高等学校福祉科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

| 問題番号 | | 正 答 (例) | | | | 採 点 上 の 注 意 | 配 点 |
|------|--|--|--|----|---|---|------------|
| 4 | 1 | ① | 盲腸 | | | S字状結腸 もよい。 | 各4×3 24 |
| | | ② | 横行結腸 | | | | |
| | | ③ | S状結腸 | | | | |
| | 2 | <ul style="list-style-type: none"> 排便反射である便意を逃さず、排泄を促す。 体操や運動を生活に組み込む。 重力と腹圧を活用するために、適切な排便姿勢をとらせる。 起床時の水分摂取を促す。 | | | | 2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 | 各6×2 |
| 5 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> 無理に聞き返さず、利用者の首や肩を動かして緊張をほぐし、手足や首でリズムをとりながら話をしてもらう。 利用者に首の向きや体位をいろいろ変えてもらいながら、発音してもらう。 利用者に口の体操を日課として行ってもらおう。 筆記用具をいつも身近に置いておき、分からない時は使用してもらう。 言葉があいまいな時は、自然に繰り返しを促し確認する。 できるだけゆっくり、短く、聞き手を意識して話してもらう。 | | | | 4つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 | 各4×4 32 |
| | 2 | A | 9 | 27 | 25 | 42 | 各8×2 |
| | B | 13 | 7 | 33 | 40 | | |
| 6 | <p>こころの理解については、人間の基本的欲求や社会的欲求も扱うこと。からだのしくみの理解については、人体の構造や関節可動域などの機能、人体各部の名称などを扱うこと。</p> | | | | 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 | 10 | |
| 7 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> 科学的な根拠に基づいた介護を実践すること。 個別ケアの実践、自己決定や自立支援などの主体性の尊重につながる。 多職種との協働・連携が図れること。 介護の専門性の向上や介護職としての成長につながる。 | | | | 3つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 | 各2×3 |
| | 2 | 課題 | ③ | | | 課題と理由がともに合っているものだけを正答とする。 | 10 |
| | | 理由 | 最も優先順位の高いものは、生命の危険性、苦痛や苦悩の強さ、事故や健康障害の危険性、自立生活の困難性の課題であり、Aさんにとっては③の課題がこれに当たるため。 | | | | |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> 長期目標の達成を目指した段階的な目標であること。 解決すべき課題の原因を取り除いた状態、ニーズが満たされて活動や参加が促進した状態、予測される課題が予防できた状態など、援助の成果を表すこと。 評価基準となるため、現実的で達成可能な内容であること。 表現は、利用者を主語にして、「～する」「～できる」「～の状態になる」とし、できれば数値を用いて表すこと。 期間は、短期目標の達成に要する時間を考慮して設定すること。 誰が見ても分かりやすく書かれていること。 | | | | 4つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 | 各3×4 28 | |

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

| 問題番号 | 正 答 【例】 | | 採 点 上 の 注 意 | 配 点 |
|---|---|---|--|-----|
| <p style="text-align: center;">8</p> | 学習活動 | 指導上の留意事項 | <p style="text-align: center;">問いを正しくとらえていれば、表現は異な ってよい。</p> | 14 |
| | <p style="text-align: center;">第一 次</p> <p style="text-align: center;">施設におけるレ クリエーションの 実際を知り、課題 を明確にする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・DVDや外部講師による、 実際の現場の様子を確認 させる。 ・実践する施設のサービス 利用者の状況を情報収集 させる。 ・サービス利用者の状況か らレクリエーションの目 的を明確化させる。 | | |
| | <p style="text-align: center;">第二 次</p> <p style="text-align: center;">レクリエーショ ンの企画、リハー サルによる実演及 び評価を行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションを企画 する上での工夫点や展開 方法等について気付かせ る。 ・他者と自己の考えている ことを比較し、より良い レクリエーションを考え させる。 ・評価表を作成し、利用者 役、生徒役でロールプレ イと他者評価をさせ、そ の後、意見発表をさせる。 | | |
| | <p style="text-align: center;">第三 次</p> <p style="text-align: center;">介護施設での実 際の実演及び評価 を行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・実際の現場において、企 画の実施をし、レクリエ ーションの目的・目標が 達成されているか評価を させる。 ・施設職員から助言・指導 をもらう。 | | |
| <p style="text-align: center;">第四 次</p> <p style="text-align: center;">振り返りをする ことで、計画の見 直し及び修正を行 う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・各自で振り返りをする とともに、グループでの振 り返りを行わせる。 ・各グループの課題を明確 にして、介護実習までに 準備を具体的に進めさせ る。 | | | |